

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-01		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	観光情報提供事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	手塚、大野、大久保	内線	3,563,462		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-01-01	観光情報提供事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 14	（ 2002 ）	年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。							
対象者等	区外の人々及び区への来訪者							
内容	①イベントカレンダー作成(14年度～)②HPに区内行事のインターネット動画配信(14年度～)③まちあるきマップ作成（マップとその増改訂履歴は以下の通り（数字は年度）【南千住】17,19改訂,21改訂,24改訂,28増刷,29増刷,30改訂,3増刷、【日暮里】17,19改訂,21改訂,27改訂,28増刷,29増刷,30増刷,元改訂、【都電】18,20改訂,22改訂,28増刷,29改訂,30増刷、【日暮里谷中散策】21,27増刷,28増刷,29増刷,2増刷、【千住散策】17,28改訂）④観光PR協力所設置77か所(R4.3.31現在)⑤行政観光パンフレット作成(20年度作成,23年度改訂)⑥観光スポット特集冊子作成(20年度)⑦京成日暮里駅構内PRコーナー運営(24年度～)⑧イメージポスター作成(24年度)⑨日暮里駅前イベント広場電光掲示板情報更新(25年度～)⑩南千住駅構内PRコーナー運営(26年度～)⑪おいでよ！あらかわ改訂(元年度)⑫観光アプリ開始(元年度～)⑬ことりっぷ日暮里発行(3年度)							
経過	○平成22年度から観光ボランティアガイド事業を受入体制整備事業へ移管した。 ○区内行事のインターネット動画配信 都電荒川線のバラ、諏訪神社御神幸祭、素盞雄神社天王祭、八幡神社例大祭、元三島神社神大祭、石浜神社神幸祭、胡録神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、熊野前サンバカーニバル ○14年度に開設した都電荒川線花見どころサイトは、（相乗りしていた産業HPの廃止に伴い）27年度に区HPへ統合した。 ○24年度に開始したTwitterは28年4月1日を以て広報課アカウントと統合した。							
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ及び来訪者の増加が期待できる。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	観光PR協力所の設置件数	81	77	77	80	113	
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
重点的に推進		重点的に推進		区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた様々な情報発信を工夫する取組を重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
予算額	3,534	3,610	6,863	12,140	5,181	10,749	6,432	
決算額(4年度は見込み)	3,227	3,030	5,090	10,673	3,263	9,657	6,432	
実績の推移	事項名(4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	イベントカレンダー	30,000	30,000	30,000	30,000	—	25,000	30,000
	まちあるきマップ(区単独)	37,000	75,000	168,000	122,000	—	64,000	45,500
	まちあるきマップ(他区連携)	262,000	—	—	—	48,000	—	39,000
	観光PR協力所設置件数	94	91	92	81	77	77	80

予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	観光PRチラシ作成費ほか	963	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	1,794	需用費	観光PRチラシ作成費ほか	1,771
委託料	まちあるきマップ作成費ほか	2,250	委託料	ことりっぷ作成委託ほか	7,813	委託料	観光アプリ運用保守ほか	4,485
使用料	イラストレーター利用料	50	使用料	イラストレーター利用料	50	使用料	イラストレーター利用料	66
						備品購入費	区内PR動画撮影用スマートフォン	110

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額
	給与関係費	9,510	8,035	▲ 1,475	地方税等	0	0
	物件費	3,263	9,657	6,394	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	574	2,968
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	370	370	0	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	574	2,968
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,799	865	▲ 934	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 14,368	▲ 15,959
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	14,942	18,927	3,985	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,368	▲ 15,959
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,368	▲ 15,959

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、ことりっぷ作成委託に4,026,000円、荒川区観光アプリ(保守及び追加委託)に2,593,360円かかっている。行政収入では、東京都の多様性を生かした観光まちづくり推進支援事業費補助金など2,968,000円の収入がある。

- 問題点・課題
- ①区への来訪者を増やすためには区外への情報発信が不可欠となるが、そのためには、新たな情報発信ツールを積極的に開拓する必要がある。
 - ②新型コロナウイルスによる各種制限の緩和に伴い、今後増加が予想される外国人観光客に向けた積極的に情報発信する必要がある。
 - ③区の魅力を発掘し、区への来訪を促す新たな観光コンテンツを作り出す必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区外へ広く情報発信するために、発信力のある冊子媒体「ことりっぷ日暮里」の制作・配布による広報に取り組む。	若年層の女性を中心に多数配布することができ、これまでとは違った層に区をPRすることができた。	前回とは異なる層へアプローチできる媒体の活用を引き続き検討する。
②	外国人観光客の受け入れ再開を見据え、外国人向けに区の魅力を伝える動画の制作に取り組む。	区内の伝統工芸やものづくり・観光スポットなど、PRすべき観光資源を精査した。	外国人観光客向けの魅力発信動画の制作に取り組むとともに、効果的な情報発信手段を検討する。
③	観光アプリの掲載情報の充実に引き続き努めるとともに、アプリを活用する回遊イベント実施に取り組む。	掲載情報については公募により店舗充実を図った。また、デジタルスタンプラリーを開催し、DL数が増加する等一定の成果があった。	新たな地域でのデジタルスタンプラリー開催のほか、他自治体との共同マップ制作など、新たな魅力づくりを進める。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨) 平成24年1定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。平成28年度決特 海外の有名なブロガーを活用した情報発信を行ってはどうか。

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		126	136	130	150	146	163	146
決算額（4年度は見込み）		43	74	59	98	62	98	146
実績の推移	事項名（4年度は見込み）	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	区長との対談（回）	0	0	0	0	0	0	1
	PR活動（名刺等作成）（枚）	2,000	-	2,000	-	2,000	-	2,000
予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	大使PR物品購入費ほか	62	需用費	大使PR物品購入費ほか	98	需用費	大使PR物品購入費ほか	127
						使用料	会食会場使用料	19

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
	給与関係費	906	1,418	512	地方税等	0	0	0
	物件費	62	98	36	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	171	153	▲18	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,139	▲1,669	▲530
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,139	1,669	530	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,139	▲1,669	▲530
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,139	▲1,669	▲530

備考

行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、観光大使が配布するポストカードの作成に98,450円かかっている。

問題点・課題

観光大使に荒川区の魅力をPRしてもらうため、区の最新動向等を定期的なきめ細かく情報提供していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	コロナ禍において、開催手法が変更となるイベントなどについて、変更点や楽しみ方などを迅速・適確に情報提供する。	コロナ禍ならではのイベントについて、適切に情報提供を行った。	コロナ禍によりイベントの開催が限られた場合も、引き続き実施報告やイベント以外の取組の紹介等、こまめな情報提供を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 13 区 未実施 9 区 不明 0 区)
	千代田区(観光協会アンバサダー)、中央区(ミス中央)、港区、新宿区(観光特使)、台東区、品川区、大田区(観光PR特使)、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、葛飾区
議会(要旨)質問状	平成27年度予特 著名人ではなく、一般の方による区の魅力発信を行ってはどうか。 平成27年度予特 観光大使の増員について 平成29年度予特 一般公募の大使等、他自治体の実状も含めて研究してみてはどうか。

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-03		戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	産業観光推進事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	大野	内線	3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-02-01	産業観光推進事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 14	（ 2002 ）	年度	根拠	荒川区モノづくり見学・体験スポット整備支援事業要綱			
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	（ ）	年度	法令等				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品の紹介とPR、そしてモノづくり見学・体験スポットを通じて、モノづくりのまちあらかわのイメージアップと産業観光を推進する。							
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	<p>【モノづくり見学・体験スポット整備支援事業】 工房等を一般公開する者をスポット（以下、「モノスポ」）として認定し、必要に応じて改修等の費用を補助。2/3補助（上限100万円）うち、1/2は都補助あり（累計42件、内訳：活動中33件、廃止8件、休止1件）。</p> <p>【あらかわモノスポ】 区外にて行うモノスポPRイベント。平成23年度より年1回。</p> <p>【モノスポツアー】 モノスポを公用車で巡るツアー。平成27年度より、年10コース程度（令和2,3年度中止）。</p> <p>【荒川ブランドPRイベント】 荒川区伝統工芸職人・荒川マイスターのPRイベント（令和2,3年度中止） ・「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 ・観光PRコーナーの設置（おすすめ品の販売等）あらかわの伝統技術展等、年10回程度</p>							
経過	<p>平成19年度 モノづくり見学・体験スポット整備支援事業開始 平成20年度 ①都電ウォークラリーを分離し、単独事業へ。 ②荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合。 ③伝統技術展を経営支援課へ移管。 平成23年度 「駅からハイキング関連事業補助」経費を観光イベント助成へ組み替え</p> <p>【「荒川ブランド」紹介冊子の内容】 ①「荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1」平成17年度発行 ②「伝統工芸品・荒川マイスター製品編」平成18・20・22・25・28・令和2年度改訂 （伝統工芸品41商品/49名+荒川マイスター製品23商品/23名+リストのみ12名=計64商品/84名） ※同一屋号の方は連名にて掲載するため、商品数と人数が異なる場合がある。</p>							
必要性	モノづくりのまちあらかわの地域資源を活かし産業観光を推進することで、地域産業の活性化を促進するために必要である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	イベント会場での実演・展示・販売等実施件数	8	0	0	8	15	新型コロナにより2,3年度はイベント中止。
	②	モノづくり見学・体験スポットの件数	33	32	34	35	36	休止1件含む
③	モノづくり見学・体験スポットの年間来訪者数	14,038	12,151	12,088	14,000	20,000	新型コロナにより休業等のため、2,3年度は減少。	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
推進	推進	モノづくりのまちあらかわを区内外に向け広く周知するため、モノづくり見学・体験スポットの拡大とPRの充実を図る取組みを推進する。						

予算・決算額等の推移	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
予算額	6,273	5,361	7,539	8,049	10,309	12,394	5,369	
決算額(4年度は見込み)	4,312	2,877	4,362	4,282	1,741	9,941	5,369	
実績の推移	事項名(4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実績の推移	PR事業(回)	11	10	11	11	0	1	3
	内、ブランドPRイベント(回)	8	7	8	8	0	0	1
	商品紹介冊子作成(部)	25,000	-	-	-	20,000	-	-
	モノづくり見学体験スポット	3	2	2	1	-1	2	2

予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	イベント報償費	44	需用費	モノスポキット購入、宝探し賞品	574	報償費	イベント報償費	150
旅費	他自治体へのイベント出展	130	役務費	宝探し広告料	1,077	旅費	他自治体へのイベント出展	111
委託料	パンフレット作成委託	1,546	委託料	設営、パンフ、宝探しほか	7,244	需用費	イベント消耗品ほか	350
使用料等	会場使用料	22	負担金補助等	モノスポ整備補助金	1,044	役務費	イベント運送費ほか	181
						委託料	会場設営費ほか	3,137
						使用料等	会場使用料	440
						負担金補助等	モノスポ整備補助金	1,000

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	2,264	10,398	8,134	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,697	8,897	7,200	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	702	4,305	3,603	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	43	1,044	1,001	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	179	179	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	702	4,484	3,782	
	賞与・退職給与引当金繰入額	428	1,119	691	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,730	▲ 16,974	▲ 13,244	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	4,432	21,458	17,026	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,730	▲ 16,974	▲ 13,244	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,730	▲ 16,974	▲ 13,244	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、日暮里地域宝探しイベント業務委託に5,698,000円かかっている。行政収入では、東京の多様性を活かした観光まちづくり推進事業費補助金として4,305,000円の収入がある。

問題点・課題
 ・区民以外にも「モノづくりのまちあらかわ」をPRするため、既存事業の広報について検討する必要がある。
 ・外国人観光客を受け入れることができる体制整備を行う必要がある。
 ・コロナ禍で対面型イベントを開催するために、新型コロナ対策方法を検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	オンラインイベント等、コロナ禍に応じた事業に適した周知方法を検討する。	コロナ禍に対応したPRとして、対面を避けながらモノづくりが体験できる郵送販売「おうちでモノづくりキット」を実施した。	対面型イベントの準備をしつつ、引き続きコロナ禍に応じた事業に適した周知方法を検討する。
②	産業観光推進イベントの実施に向けて引き続き準備を進める。	コロナ禍のため、対面型のイベントは中止したが、非対面型のイベントを実施した。	対面型イベントを実施する際には、集客力など、より効果的な会場を検討する。
③	新型コロナに対する政府等の動向を見ながら適宜対応する。	令和3年度はコロナが収束しなかったため、新しい生活様式に対応しながら、イベントを実施した。	新型コロナに対する政府等の動向を見ながら、対面型・非対面型イベント共に検討し、適宜対応する。

他区の実況	(実施 5 区 未実施 15 区 不明 2 区)
東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業活用区：台東区(中小製造業アトリエ化支援事業) その他関連事業実施区：墨田区(すみだモダンブランド認証事業、すみだファクトリーめぐり)、大田区(おたオープンファクトリー)、江東区(江東ブランド推進事業)、足立区(足立ブランド事業)	

況(要旨) 平成17年2定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-04	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	観光イベント支援事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
		担当者名	手塚	内線	3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-03-01	川の手荒川まつり事業					
	01-03-02	観光イベント助成費					
	01-03-03	隅田川花火大会事業費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 62	（ 1987 ）	年度	根拠	川の手荒川祭り実行委員会実施事業補助金交付要綱、荒川区観光振興事業補助金交付要綱		
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7 （ 2025 ） 年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	区民等の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。						
対象者等	区民主体の民間団体 区民、区外の人々及び来訪者						
内容	1 川の手荒川まつり実行委員会補助 28年度（汐入公園）12,340千円、29年度（南千住野球場）12,312千円、30年度（汐入公園）15,551千円、元年度（汐入公園）17,766千円、2年度（南千住野球場・中止）247千円、3年度（オンライン）6,170千円 2 観光振興事業補助等 3年度 2件 350千円（「クイズラリーイベント」50千円、「下町音楽散歩」300千円） 3 隅田川花火大会実行委員会への負担金 ・26年度150万円 ・27年度150万円 ・28年度150万円 ・29年度180万円 ・30年度150万円 ・元年度165万円 ・2年度0円（中止） ・3年度0円（中止）						
経過	○川の手荒川まつり 昭和62年以来、（計5回を除き）毎年4月29日（祝）に実施。17年の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で開催することをルール化した。27年度に安全面、ブース確保の問題から荒川遊園を除外し、3会場で実施することを決定した。 ○平成23年度 ・「駅からハイキング関連事業補助」経費を産業観光推進事業から組み替え。 ・「シダレザクラ祭り補助金」が公園緑地課（現在の道路公園課）に移管。 ○駅からハイキングにおける商店街PRのための補助 21～24年度、27年度、29年度、30年度（1団体）、元年度（2団体）、2年度（1団体）：駅からハイキング（JR東日本）（単年度要綱にて助成、29年度より通年度要綱作成）、25、26年度は、JRの実施方法変更のため補助なし。28、29、30年度（1団体）は商店街連携支援補助を活用し実施。						
必要性	区民・地域団体等が実施するイベントを支援することで、より多くの集客の機会を創出することが期待出来る。						
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
	① 観光事業補助金申請件数	5	3	2	5	13	日暮里駅前広場活用イベント補助を含む
	② 川の手荒川まつり来場者数(千人)	38	0	0	0	103	新型コロナウイルスの影響により、2、4年度は中止、3年度はオンライン
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
推進	推進	区民・事業者の自主的活動は、観光振興による地域の活性化を図る上で欠かせないものであることから、今後も関係団体等に対する支援を推進する。					

予算・決算額等の推移	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額	18,280	19,082	22,424	25,106	28,279	17,534	33,617
決算額 (4年度は見込み)	17,379	18,180	21,087	23,469	3,328	3,881	33,617
実績の推移	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名 (4年度は見込み)							
シダレザクラ祭り参加者(人)	9,000	11,000	12,000	15,000	0	0	0
事業補助金(日暮里イベント含む)	9	10	6	5	3	2	5
川の手荒川まつり来場者(人)	55,000	79,000	50,000	38,000	0	0	0
川の手荒川まつり参加団体	127	131	129	129	0	39	0

予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	臨時職員(川の手荒川まつり)	314	負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	3,531	報酬	臨時職員(川の手荒川まつり)	329
負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか	130	負担金補助等	観光振興事業補助金	50	職員手当等	時間外手当(川の手荒川まつり)	250
負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	2,884	負担金補助等	観光資源活用イベント支援補助金	300	職員手当等	時間外手当(隅田川花火大会)	293
						需用費	隅田川花火大会用消耗品	100
						委託料	隅田川花火大会テント等設置費ほか	5,709
						負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか	5,075
						負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	21,841

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	10,726	8,980	▲ 1,746	地方税等	0	0	0	
	物件費	4	0	▲ 4	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	3,014	3,881	867	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,970	967	▲ 1,003	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 15,714	▲ 13,828	1,886	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	15,714	13,828	▲ 1,886	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 15,714	▲ 13,828	1,886	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 15,714	▲ 13,828	1,886		

備考

行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主なものであり、主な内訳としては、オンライン開催となった川の手荒川まつりに対する補助金として3,531,070円かかっている。

問題点・課題

- ①川の手荒川まつりの開催会場については、安全面や会場のキャパシティの面から、平成27年度に見直しを行い、以後3会場でのローテーション開催とした。また、新型コロナウイルスの影響で令和3年度はオンライン開催となったため、開催方法も含め状況を注視していく必要がある。
- ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施にあたっては十分な対策を検討する必要がある。
- ③隅田川花火大会については、区内の観覧場所となる汐入地域において、実行委員会として関係機関と調整しさらなる安全対策を万全に図らねばならない。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	オンライン開催の反響を踏まえ、新型コロナによる影響を考慮し、開催方法を検討していく(川の手荒川まつり)	オンライン開催では、キャンペーン等の実施により反響が得られたが、会場開催を望む声も見られた(川の手荒川まつり)	コロナ禍でも会場開催ができるよう、感染対策について検討していく(川の手荒川まつり)
②	以前の反省点に加え、新型コロナ感染症の対策についても検討していく(隅田川花火大会)	令和3年度は感染対策が困難として中止となった(隅田川花火大会)	コロナ禍での開催となれば、感染対策についても検討していく(隅田川花火大会)
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨) 平成14年3定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
 平成16年1定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について
 平成17年2定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。
 平成27年度決特 人が集まる隅田川花火大会を観光振興や商業振興に活用すべきと考えるが区の見解は。
 平成27年度予特 観光資源としての富士見坂の活用について

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-05	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
		担当者名	長崎	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-04-01	観光振興懇談会運営費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 18 （ 2006 ） 年度	根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7 （ 2025 ） 年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信				
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会を開催し、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討を行う。懇談会の提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。						
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等						
内容	【令和3年度】「デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けて（提言）」の作成 【令和2年度】「コロナ禍における観光振興」をテーマに意見交換 【令和元年度】「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて荒川区として何ができるか」「日暮里繊維街の観光的魅力の発掘」をテーマにフィールドワーク実施後、意見交換 【平成27～30年度】実施事業の報告に加え、今後の観光施策の課題（28年度）、今後の荒川区の観光施策（太田道灌）（29年度）、区内観光関連事業者等からのヒアリング（30年度）を実施。 【平成27年度】区内の観光及び観光資源の現状、前回報告書提言内容の実施状況、観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策※2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えてさらなる誘客を図るため、新たな観光振興懇談会報告書を作成。 【平成19～22年度】18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証						
経過	【平成18年度】様々な分野の有識者で構成する観光振興懇談会を5回開催し、観光振興の目指すべき方向性と具体的施策について検討し、提言を報告書としてまとめた。 【平成19年度から平成22年度】18年度の調査報告書、懇談会報告書の提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証（19年2回、20年3回、21年1回、22年1回） 【平成24年度】観光事業コンサルタントによる講演会、質疑応答、意見交換である研究会を1回実施 ※平成23年度、25年度、26年度は未実施 【平成27年度】荒川区観光振興懇談会を3回行い、座長から区長へ報告書手交実施 【平成28年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施 【平成29年度】荒川区観光振興懇談会を2回実施 【平成30年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施 【令和元年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施 【令和2年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施 【令和3年度】荒川区観光振興懇談会を1回実施						
必要性	専門家からの提言・助言を活かすことで、より効果的に区の観光振興施策を推進していくことが期待出来る。						
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度 見込み	目標値 (8年度)	
	① 懇談会の開催(回)	1	1	1	1	2	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に今後の計画及び施策に反映するため、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		318	300	248	248	248	248	248
決算額（4年度は見込み）		63	128	60	162	145	102	248
実績の推移	事項名（4年度は見込み）	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	観光基礎調査	-	-	-	-	-	-	-
	懇談会(回)	1	2	1	1	1	1	1
	懇談会専門部会(回)	-	-	-	-	-	-	-
	研究会(回)	-	-	-	-	-	-	-
予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	懇談会委員謝礼等	143	報償費	懇談会委員謝礼等	100	報償費	懇談会委員謝礼等	205
需用費	懇談会賄い等	2	需用費	懇談会賄い等	2	需用費	懇談会賄い等	43

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,811	3,308	1,497	地方税等	0	0	0
	物件費	2	2	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	143	100	▲ 43	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	343	356	13	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,299	▲ 3,766	▲ 1,467
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	2,299	3,766	1,467	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,299	▲ 3,766	▲ 1,467
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,299	▲ 3,766	▲ 1,467	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主なものであり、主な内訳としては、観光振興懇談会委員への報償費として100,148円かかっている。

問題点・課題
 ・平成27年度に作成した「荒川区観光振興懇談会報告書」により、地域経済・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚や来訪者との交流による地域活性化を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指すことを確認した。
 ・令和4年7月発行予定の「デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けて（提言）」の内容を受け、今後は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、荒川区の観光振興について何が出来るか考えていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えた観光振興について、アドバイス等をいただく	第23回観光振興懇談会を開催して、委員の皆様からウィズコロナ及びアフターコロナを見据えた観光振興についてご意見をいただいた。	いただいたご意見をもとに、デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けた観光振興懇談会提案書別冊の完成を目指す。
②			
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
議会要旨	平成29年度11月会議 荒川区観光協会の設立に向けて、区内各団体同士の協議の場を設定し、設立に向けて働きかけるべきと考えて欲しい。 平成26年度予特 2020年の東京オリンピックまでに、観光客誘客のための戦略を示して欲しい。

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		216	100	192	196	318	318	318
決算額 (4年度は見込み)		150	41	128	133	169	0	318
実績の推移	事項名 (4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	都電荒川線沿線スタンプラリー (参加者数)	1,944	1,834	1,670	1,611	1,149	0	1600

予算・決算の内訳								
令和2年度 (決算)			令和3年度 (決算)			令和4年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	クイズラリー景品ほか	169				需用費	スタンプラリー景品ほか	318

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額			2年度	3年度	差額	
行政費用	給与関係費	906	1,891	985	地方税等	0	0	0	
	物件費	169	0	▲ 169	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	171	203	32	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 1,246	▲ 2,094	▲ 848	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
	行政費用合計 (b)	1,246	2,094	848	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 1,246	▲ 2,094	▲ 848	
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0		
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 1,246	▲ 2,094	▲ 848		

備考 行政費用では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となったため、給与関係費を除いて費用は発生していない。

問題点・課題 ①都電沿線の活性化のため、イベントでの都電の活用に加え、引続き沿線3区及び交通局と連携し、各駅の観光スポットや沿線情報を掲示し、都電沿線の利便性等をアピールしていく必要がある。
②俳句・バラ・あらかわ遊園等の沿線の魅力を都電と関連付け、「都電の走るまちあらかわ」のイメージを作り、関係機関とも連携し、効果的に情報発信する必要がある。
③都電に特化したイベントの実施やガイドブックの作成等、外国人観光客に向け更なる魅力発信に努めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会において、新しい日常に適した事業を検討する。	イベントのオンライン開催や、非接触型のイベント等を協議会において提案した。	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会において、感染症対策を取りながら、都電を活用した事業を検討する。
②	ウィズコロナにおける安心・安全な都電特別号の運行について検討を行う。	にぎわい創出を目的とせず、メッセージや情報の発信等を目的とした内容であれば、運行可能であることを確認した。	従来運行していた都電特別号において、情報やメッセージの発信を目的とした手法での実施が可能か検討を行う。
③			

他区の実況 (実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区)
・都電荒川線沿線4区地域活性化協議会に加入

議会(要旨) 平成18年4定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。
平成24年3定 都電を活用した地域や交通局、沿線4区との連携等。
平成26年度予特 あらかわ遊園を活用して商店街振興に貢献するような取組みは検討しているか。
平成27年度予特 あらかわ遊園と都電を活用したイベントで地域ににぎわいが期待できるが区の認識は。
平成27年度予特 あらかわ遊園と都電は区の観光資源であるが、それらをどのように活用しているか。

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-07	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	木村	内線	3563			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-02-03	受入体制整備事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 17（ 2005 ）年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金交付要綱等					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（ ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光案内所等を拠点とし、区の魅力を広く情報発信するとともに、来訪者の受入体制を整備するなど、おもてなしの向上を図ることで区の魅力を高め、誘客を促進する。							
対象者等	区民及び区外からの来訪者、区内の宿泊施設及び飲食店							
内容	<p>【観光案内所の運営】日暮里観光案内所における観光情報の発信 開設日：年末年始を除く毎日 10時～16時</p> <p>【観光案内標識設置事業】東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基設置 18年度 南千住地区 5基設置 19年度 都電川線沿線 5基設置 20年度 汐入地区 5基設置 22年度 三ノ輪停留場標識を都から移管 29年度 20基盤面改訂</p> <p>【外国人来訪者受入体制整備事業】外国人受入環境整備に対する補助事業、外国人向けイベント実施 区内の宿泊施設、飲食店を営む事業者が外国語版のホームページ、パンフレット等を新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助（平成20年度～）、Wi-Fiスポット2ヶ所整備</p> <p>【観光ボランティアガイド】まちあるきをはじめとした観光案内の実施、まちあるきガイドの養成 ガイド登録者数：139名（延べ）※現在登録者数：32名（うち休会者6名）</p>							
経過	<p>【観光案内所整備運営事業】 平成28年度 日暮里観光案内所及び南千住観光おもてなしサロン開設（平成29年11月閉鎖）</p> <p>【観光案内標識設置事業】 平成17年度 事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え）</p> <p>【観光ボランティアガイド事業】 平成18年度 養成講座の開始、ガイド活動の開始（観光情報提供事業として） 平成22年度 観光情報提供事業より移管</p> <p>【外国人来訪者受入体制整備事業】 平成20年度 事業開始 平成26年度 要綱を一部改正（対象事業を飲食店にも拡充する） 平成27年度 要綱を一部改正（宿泊施設・飲食店ともに対象事業を拡充する） 平成29年度 日本文化体験イベント（日本舞踊体験、商店街ツアー）開始（令和2年度に事業終了）</p>							
必要性	多言語案内や標識等の整備を進めることで、外国人をはじめとした観光客に荒川区の観光における満足度を高め、リピーターとしての来訪増加が期待出来る。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	日暮里観光案内所等利用者数(人)	36,822	3,000	10,000	14,400	36,300	年度実績数 2.3年度はコロナで減少
	②	外国語版HP等作成支援(件)	0	0	0	1	5	年度実績数
③	観光ボランティアガイドの活動(回)	21	0	0	6	35	来訪者からの依頼に基づく活動数 2.3年度はコロナで減少	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		22,674	14,558	5,997	11,896	7,128	6,950	6,842
決算額(4年度は見込み)		8,259	10,788	3,280	9,800	3,021	3,854	6,842
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名(4年度は見込み)								
観光案内標識設置		—	—	—	—	—	—	—
観光案内標識内容更新・修正		—	20	—	1	5	5	5
外国語版HP作成支援		1	0	0	0	0	0	2
ガイド活動		25	21	34	21	0	0	6
予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	1,026	報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	2,171	報償費	観光案内所スタッフ謝礼、ガイド養成講座講師謝礼等	4,317
需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	127	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	31	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	199
役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	623	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	576	役務費	案内所通信費・ガイド保険料ほか	598
委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	850	委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	680	委託料	観光案内標識盤面修正委託ほか	1,132
使用料等	案内所賃料	396	使用料等	案内所賃料	396	使用料等	案内所賃料	396
			負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	0	負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	200

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	4,529	4,254	▲ 275	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,979	1,672	▲ 307	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	286	200	▲ 86	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,042	2,182	1,140	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	161	161	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	286	200	▲ 86	
	賞与・退職給与引当金繰入額	857	458	▲ 399	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 8,282	▲ 8,527	▲ 245	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	8,568	8,727	159	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 8,282	▲ 8,527	▲ 245	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 8,282	▲ 8,527	▲ 245	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主であり、主な内訳としてはフリーWi-Fiサービスの提供に546,480円、観光案内標識盤修正委託に440,000円かかっている。

問題点・課題 ①外国人来訪者受入体制整備支援事業補助金のPRを積極的に行い、事業者支援につなげ、外国人観光客の受入体制の整備充実を図る必要がある。
②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により日暮里観光案内所利用外国人数は減少しているが、フリーWi-Fiサービスの案内など、旅行者の不安に寄り添う、一層きめ細やかなサービスが必要である。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、観光案内所の運営を柔軟に行う。	緊急事態宣言下では週4日の営業にするなど、新型コロナの状況に鑑みて観光案内所を運営した。	引き続き新型コロナの状況に鑑み、観光案内所の運営を柔軟に行う。
②	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、外国人観光客へのPRを積極的に行っていく。	新型コロナウイルス感染症により、外国人観光客の入国が制限されていたため、PRが難しい社会状況であった。	外国人観光客の受入が拡大している状況等を踏まえ、外国人観光客へのPR方法を検討する。
③	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、ボランティアガイドの会の意向も確認しながらPRを実施していく。	新型コロナの状況に鑑み、可能な範囲でボランティアガイドの会活動を行った。	引き続き新型コロナの状況に鑑み、ボランティアガイドの会の意向も確認しながらPRを実施していく。

他区の実況	(実施 15 区 未実施 0 区 不明 7 区)
	観光案内標識…台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他

議会要旨 平成20年3定 外国人観光客誘致に向け、観光案内所を日暮里駅周辺へ設置すべき。
平成28年度決特 区内の日本語学校生徒の通訳ボランティアとしての活用について
平成28年度決特 日暮里活性化施設を活用した区内への誘客について

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-09		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	俳句活用事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
			担当者名	長崎	内線	461			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-05-01	俳句活用事業							
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 27（2015）年度	根拠							
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等							
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画					
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市						
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成						
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出						
目的	荒川区俳句のまち宣言に基づき、俳句のまちであることを区内外に向け広くPRする各種事業を実施することで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。								
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民、区外の人々及び来訪者 ・ 奥の細道サミット参加自治体 								
内容	<p>俳句及び奥の細道に所縁の深い区として、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地千住あらかわ」を広く内外へPRし、区外からの誘客を促進するとともに、地域の賑わいを創出する。</p> <p>[令和3年度関連事業(イベント関連)]※②については2・3年度中止のため、元年度の実績</p> <p>①フォト俳句コンテスト(募集期間令和3年10月1日～令和4年1月14日、応募作品数1,679句)</p> <p>②都電DE俳句(【第1回】12月13日、募集15名、応募35名、参加15名 【第2回】中止)</p> <p>[令和3年度関連(その他)]</p> <p>①俳句のまちあらかわPR商品開発補助金</p> <p>②奥の細道サミットin平泉・一関(8月28日、29日)※書面開催に変更</p>								
経過	<p>荒川区は奥の細道所縁の自治体・団体が加入している「奥の細道サミット」に平成19年度から参加しており、平成27年3月14日に「奥の細道千住あらかわサミット」を開催した。また、サミット同日には、「荒川区俳句のまち宣言」を発表し、以降様々な俳句文化の振興に取り組んでいる。</p> <p>[サミット開催状況] 28年度 岐阜県大垣市 29年度 富山県高岡市 30年度 山形県大石田町 元年度 石川県金沢市 2年度 東京都江東区 3年度 岩手県平泉町・一関市</p> <p>[近年実施した主なイベント]</p> <p>元年度 ラッピング都電(運行)、都電DE俳句、千住まちあるきツアー、芭蕉の大橋渡り、フォト俳句コンテスト、PR商品開発補助金、関連自治体への出店</p> <p>2年度 ラッピング都電(運行)、フォト俳句コンテスト、PR商品開発補助金</p> <p>3年度 ラッピング都電(運行)、フォト俳句コンテスト、PR商品開発補助金、関連自治体への出店</p>								
必要性	俳句のまちあらかわ及び奥の細道矢立初めの地千住あらかわを継続的にPRしていくことで、区内への誘客及び地域の活性化の双方において大きな効果が期待できる。								
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員)								
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)	
	①	俳句関連事業数(観光振興課)		10	2	2	4	11	
	②								
③									
事務事業の分類		分類についての説明・意見等							
4年度		5年度							
推進		推進		区外からの誘客を促進し、地域の活性化を図るため、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地あらかわ」を活用した観光振興事業を推進する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		14,431	13,418	14,646	17,208	14,106	13,231	9,321
決算額(4年度は見込み)		9,746	11,463	12,205	14,501	7,862	8,503	9,321
実績の推移	事項名(4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	関連事業実施数(観光振興課)	9	8	10	10	2	2	4
	奥の細道サミット加入団体数	38	42	42	42	44	46	46
予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	俳句関連イベント消耗品費	8	需用費	俳句関連イベント消耗品費	53	報償費	サミット関連自治体への出店報償費	337
役務費	ラッピング都電広告料	2,299	役務費	ラッピング都電広告料	2,635	旅費	サミット関連自治体への出展旅費	342
委託料	俳句イベント運営委託費	5,556	委託料	俳句イベント運営委託費	5,691	需用費	俳句関連イベント消耗品費	365
			負担金補助等	PR商品開発補助金	125	役務費	フォト俳句コンテスト広告料	516
						委託料	俳句イベント運営委託費	7,731
						負担金補助等	奥の細道サミット負担金	30

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
	給与関係費	3,623	2,363	▲ 1,260	地方税等	0	0	0
	物件費	7,862	8,378	516	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	125	125	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	685	254	▲ 431	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 12,170	▲ 11,120	1,050
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	12,170	11,120	▲ 1,050	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 12,170	▲ 11,120	1,050
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 12,170	▲ 11,120	1,050

備考 行政費用としては、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、主な内訳としては、俳句のまちあらかわPR事業実施に係る運営・広告掲載委託費として5,665千円かかっている。補助費は前年度比125千円増額しているが、これは「PR商品開発補助金」の申請が1件あり、支出が生じたためである。

問題点・課題
 ・俳句文化及び奥の細道を活用した区のPRを行うためには、特定の地域だけでなく、区内外へ「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地」を広めることが求められる。
 ・俳句文化によるまちの魅力を発信し、誘客促進を行うため、観光関係団体・文化団体や地域文化スポーツ部、教育委員会など関係部署と更なる連携を図り、PRや事業企画等を進めていく必要がある。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響で従来の方法でのイベント開催が困難となることを見込まれるので、イベント内容の見直しを含め、俳句のまちあらかわの新たなPR方法について検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、新たな事業企画やPR方法について検討していく。	新型コロナウイルス感染症による事業への影響を少なくするため、新たな部門を設けるなど実施方法を工夫した。	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、新たな事業企画やPR方法について検討していく。
②	庁内関係部署や商店街と連携し俳句を活用した取組みを継続して実施する。	庁内部署と連携し、区民の俳句作品をラッピング都電の車内にて掲示した。	庁内関係部署や商店街と連携し、俳句を活用した取組みを継続して実施する。
③	既存の観光資源やイベントに、俳句を絡め効果的に情報を発信する。	「俳句のまちあらかわ」をPRするラッピング都電の車内に、「フォト俳句コンテスト」のポスターを掲示した。	引き続き既存の観光資源やイベントに俳句を絡め、効果的に情報を発信する。

他区の実況	(実施 2 区 未実施 20 区 不明 0 区)
	「奥の細道サミット」加入団体は、23区では当区のほか、江東区、足立区の2区。

議会議案要旨
 平成25年1定 「奥の細道旅立ちの地」という重要な地域資源を活かした観光振興を推進すべき
 平成28年度2月会議 「俳句のまちあらかわ」を区内外に広く周知するための取組みを実施すべき
 平成28年度予特 新たに建立する句碑を他の俳句関連スポットとともに観光資源として活用すべき

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-10		戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	あらかわの伝統野菜PR事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
			担当者名	大野	内線	3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-01-03	あらかわの伝統野菜PR事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 24	（ 2012 ）	年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画	<input checked="" type="checkbox"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	地域の活性化や区民の郷土愛の向上を目指して、かつて江戸時代に荒川区で生産されていた三河島菜など荒川区の地名を冠した野菜を復活させる取り組みを行い、江戸東京野菜として区内外に広くPRを行う。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内協力店舗等							
内容	①都立農産高校との連携（平成24年度～） ・平成24年に園芸部にて三河島菜と汐入大根の試験栽培を開始（汐入大根は不作）。翌年より授業として三河島菜を栽培。 ・「にっぽりマルシェ」にて、三河島菜を生徒が販売、これまでの三河島菜の研究成果を「にっぽりマルシェ」にてブース展示、来場者に説明（平成27年度～令和元年度） ②区役所内レストランさくらでの三河島菜フェアの開催（平成25年度～） ・三河島菜を使用した定食を日替わりで1週間提供 ③三河島菜イメージキャラクターの作成及びPRグッズの作成（平成26年度～） ・クリアファイル、トートバッグ							
経過	・平成18年度、荒川ふるさと文化館にて、荒川のブランド野菜をテーマにした「あらかわのお野菜 都市とお野菜」を開催。尾久宮前小学校栄養士が、絶えてしまったとされる荒川区ゆかりの伝統野菜が現存しないか江戸東京・伝統野菜研究会の大竹道茂氏に調査を依頼したところ、仙台で栽培されていた「仙台芭蕉菜」が、その子孫種であることが判明。大竹氏が小平市の農家へ種を持ち込み栽培。 【平成23年 7月】「青茎三河島菜」としてJA東京中央会によって江戸東京野菜に選定、【平成24年10月】都立農産高校と連携し三河島菜及び汐入大根の試験栽培を開始、【平成25年 9月～】授業の一環で三河島菜の栽培を開始（毎年9月頃）、【平成25年12月～】都立農産高校の生徒が「にっぽりマルシェ」で三河島菜を販売、【平成26年 1月～】区役所内「レストランさくら」にて1週間三河島菜メニューフェアを開催、【平成26年 3月～】都立農産高校へ区から感謝状贈呈（毎年3月）、【平成30年 9月】汐入水辺フェスタに参加。三河島菜を育てるワークショップを開催、【令和元年12月】「人間と社会」の授業として講師を派遣し、勉強会を実施（出席生徒数約140名）							
必要性	・新たな観光資源の創出は、更なる誘客の促進に不可欠である。 ・荒川区独自の文化を観光資源に活用することは、区の魅力をPRするために大切である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	三河島菜フェア提供食数（合計）	415	431	592	600	700	レストランさくら実施（5日間合計）
	②	三河島菜販売数（セット）	43	0	0	50	200	にっぽりマルシェ、その他会場での販売(2,3年度は未実施)
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
継続		継続						
三河島菜の認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、今後もこれまでの取組を継続していく。								

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		377	410	468	470	467	554	564
決算額（4年度は見込み）		278	248	300	284	13	17	564
実績の推移	事項名（4年度は見込み）	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	三河島菜フェア提供食数（合計）	502	453	532	415	431	592	700
	三河島菜販売数（セット）	80	84	112	43	0	0	300
予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	8	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	11	報償費	勉強会講師謝礼	74
役務費	感謝状筆耕	6	役務費	感謝状筆耕	6	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	298
						役務費	感謝状筆耕	6
						委託料	マルシェ展示用パネル設営	186

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
	給与関係費	3,623	1,891	▲ 1,732	地方税等	0	0	0
	物件費	13	17	4	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	685	203	▲ 482	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,321	▲ 2,111	2,210
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4,321	2,111	▲ 2,210	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,321	▲ 2,111	2,210
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,321	▲ 2,111	2,210

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主なものであり、内訳としては、三河島菜種子の購入に5,665円かかっている。

問題点・課題
 ・荒川の伝統野菜として区民に認知され、問い合わせも増えつつあるが、今後も更なる情報発信を継続する必要がある。
 ・野菜やその種に区民が直接触れる機会が少ないため、新たな販売方法を検討する。
 ・三河島菜の販売等イベント開催時に、新型コロナウイルス感染症の対策をとる必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	令和3年度以降も「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を継続して行う。	「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによって情報発信を継続して行った。	令和4年度以降も「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を継続して行う。
②	令和3年度以降も、各所と連携し、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、三河島菜をPRする機会を設ける。	各所と連携し、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、「三河島菜フェア」開催した。前年を超える売上があった。	令和4年度以降も、各所と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら、三河島菜をPRする機会を設ける。
③	令和3年度以降も、新たな連携先の開拓について、積極的に検討していく。	売店等での三河島菜の販売を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止とした。	令和4年度以降も、新たな連携先の開拓について、積極的に検討していく。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成28年度予特 三河島菜の種をもっと広く一般の方が入手出来るようにしてはどうか。 平成28年度予特 尾久宮前小で育てている三河島菜の鉢植えを区役所に展示し、PRしてはどうか。

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-11	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	太田道灌魅力発信事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代			
		担当者名	木村	内線	3563			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-02-04	太田道灌魅力発信事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 30（2018）年度	根拠						
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	（ ）年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区日暮里地域には、勇壮な太田道灌の騎馬像や山吹の花一枝像、道灌山、道灌丘碑といった太田道灌に関する観光資源が点在していることから、太田道灌を観光資源とし、イベントやPR活動を行うことで日暮里を活性化させ、荒川区への来訪促進を図る。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内外協力店舗等							
内容	1 日暮里道灌まつり 太田道灌に所縁のある自治体や店舗による物販及び観光PR、ステージでの催し、パネル展示等を日暮里駅前イベント広場で実施。 2 PR活動 ・区HPでの紹介（荒川ゆうネットアーカイブにて太田道灌像について紹介） ・観光パンフレットに掲載（おいでよ！あらかわ（区外向けパンフレット）・荒川区観光ボランティアガイドマップ・日暮里舎人ライナー都電沿線まちあるきマップ） ・パンフレット「太田道灌と荒川区」（5,000部）を作成（令和元年10月発行） ・グッズの作成（令和元年9月～11月） タオルハンカチ（700枚）、付箋（500個）、ウェットティッシュ（1,300個）							
経過	日暮里道灌まつり 【平成30年度】 開催日：10月20日（土）、21日（日）午前10時から午後5時まで ※にっぽりマルシェと同時開催 【令和元年度】 開催日：11月9日（土）午前10時から午後4時まで ※区単独開催 【令和2年度】オンライン開催 区施設でのパネル展（本庁舎10/12～23、ゆいの森10/16～30、西日暮里ギャラリー10/28～11/11）、区HPでの出展団体及び特産品の紹介（11/1～30）を行った。 【令和3年度】オンライン開催 ふらっとにっぽりでのパネル展・区HPで関係自治体等の紹介（12/1～15）及び区YouTubeで落語「道灌」（三遊亭王楽氏 ※荒川区観光大使である三遊亭好楽氏の兄弟弟子）の放映を行った。							
必要性	荒川区の歴史文化を観光資源に活用することにより、区のにぎわいを創出し、地域経済の活性化するために必要である。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値（8年度）
	①	日暮里道灌まつり来場者数	2,000	0	0	2,000	6,000	新型コロナウイルスのため、2年度及び3年度はオンライン開催
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
推進	推進	荒川区と太田道灌のつながりの認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図るため、取組を推進する。						

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額			—	2,603	4,207	6,143	5,010	6,339
決算額 (4年度は見込み)			—	2,330	3,879	33	220	6,339
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名 (4年度は見込み)								
日暮里道灌まつり(人)			—	5,000	2,000	0	0	2,000
予算・決算の内訳		令和2年度 (決算)			令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
委託料	ネット広告委託	33	委託料	落語公演業務委託ほか	220	需用費	PRグッズほか	634
						役務費	保険料	70
						委託料	委託料	5,635

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
行政費用	給与関係費	4,076	2,836	▲ 1,240	地方税等	0	0	0
	物件費	33	220	187	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	220	220
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	220	220
	賞与・退職給与引当金繰入額	771	305	▲ 466	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,880	▲ 3,141	1,739
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4,880	3,361	▲ 1,519	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,880	▲ 3,141	1,739
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,880	▲ 3,141	1,739	

備考 行政費用では、給与関係費を除くと、物件費が主なものであり、主な内訳としては落語「道灌」公演業務委託に121,000円かかっている。行政費用では特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金として220,000円の収入がある。

- 問題点・課題
- ・荒川区と太田道灌のつながりを更にPRする方法を検討する必要がある。
 - ・関連自治体と交流を深め、連携することにより、太田道灌の魅力を発信する機会を増やしていく必要がある。
 - ・日暮里道灌まつり開催時に、新型コロナウイルス感染症対策を取る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	新型コロナの感染状況を踏まえ、日暮里道灌まつりへの出展要請等により連携を更に深める。	パネル展示や区ホームページでの関係自治体等の紹介によって、連携を深めた。	引き続き新型コロナの感染状況を踏まえ、関係自治体等の連携方法を検討する。
②	新型コロナの感染状況を踏まえ、新しい生活様式に適した事業の実施方法を検討する。	新型コロナの感染状況を踏まえ、日暮里道灌まつりをオンライン開催した。	引き続き新型コロナの感染状況を踏まえ、事業の実施方法を検討する。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成28年度予特 太田道灌を活用し、観光客誘致のためのPRを行うべき 平成28年度予特 日暮里駅前イベント広場に道灌広場や山吹広場等の愛称名をつけることで、誘客を図るべき 平成29年度11月会議 太田道灌をテーマとし、ゆかりのある自治体等と連携したイベントを開催するなど、新たな誘客策に取り組むべき 平成29年度予特 太田道灌を軸とした交流を作り出し、関わりのある自治体と広く連携を進めるべき

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	観光振興功労者表彰事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代		
		担当者名	長崎	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-06-01	観光振興功労者表彰事業					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input checked="" type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	令和 3（2021）年度	根拠					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	区の観光振興に功績のあった団体や個人等の功績を広く周知することにより、区の観光振興につなげていくことを目的とする。						
対象者等	区の観光振興に功績のあった団体、個人						
内容	1 表彰基準 区の観光振興に貢献しており、以下のいずれかに該当していることとする。 （1）区の区域内において継続的に観光振興事業を実施し、又は観光振興事業に協力し、区の観光イメージの向上に貢献していること。 （2）区の新たな観光資源の創出に貢献していること。 （3）その他、区の観光振興及び地域振興への貢献が特に顕著であること。 2 表彰の方法 被表彰者に賞状・盾・記念品の授与を行う。 3 選考方法 外部委員を加えた選考委員会において、表彰基準に該当し、事務局が推薦する者について諮問し、選考委員会からの答申を参考に被表彰者を決定する。						
経過	<歴代受賞者> ・第1回（R3年度）杉山 六郎（南千住コツ通り商店会会長、荒川区商店街連合会副会長）						
必要性	区の観光振興に功績のあった団体や個人等の功績を区が表彰することで、区民の観光振興への取り組みに対する意欲の向上が期待できる。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
	① 被表彰者数			1	1	2	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
推進	継続	区民の観光振興への取り組みに対する意欲の向上を図るため、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額						—	392	183
決算額（4年度は見込み）						—	43	183
実績の推移	事項名（4年度は見込み）	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	観光振興功労者被表彰者数						1	3
予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			需用費	表彰記念品ほか	43	報償費	委員謝礼	41
						需用費	表彰記念品ほか	142

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
	給与関係費	0	4,726	4,726	地方税等	0	0	0
	物件費	0	43	43	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	509	509	行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 5,278	▲ 5,235
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	0	5,278	5,278	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 5,278	▲ 5,235
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 5,278	▲ 5,235

備考 行政費用としては、給与関係費を除くと物件費のみであり、主な内訳としては、表彰記念品等の購入費として43千円かかっている。

問題点・課題 令和3年度においては、産業経済部他課の表彰事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式（式典）が中止となった。今後も感染状況に注視し、他課とも調整の上式典の実施方法について検討する。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	実施要綱、選考委員会設置要領や選考基準を作成し、事業の枠組みを決定する。	実施要綱、選考委員会設置要領や選考基準を作成し、第1回の表彰を滞りなく進めることができた。	今後の表彰候補者の選考にあたっては、適格な人選に努める。
②			
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議
会
質
問
状
況
（
要
旨
）

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	06-04-13		戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事
事務事業名	あらかわ遊園PR事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	矢代	
			担当者名	木村	内線	3563	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-07-01	あらかわ遊園PR事業					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	令和 4	（ 2022 ）	年度	根拠			
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和 4	（ 2022 ）	年度	法令等		
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画	<input checked="" type="checkbox"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	荒川区の貴重な観光資源であるあらかわ遊園が令和4年春にリニューアルオープンすることから、PR冊子の発行やあらかわ遊園を会場としたイベントを実施することで、あらかわ遊園の魅力を広く発信する。						
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者						
内容	<p>1 謎解きイベントの実施 あらかわ遊園を舞台とした謎解きイベント 全問正解し、アンケートに回答した参加者に対し、抽選で賞品を送付</p> <p>2 あらかわ遊園PR冊子作成 リニューアル後の見どころや周辺の観光スポットを紹介する冊子を旅行雑誌の協力により作成し、あらかわ遊園の魅力を区内外に向けて発信する。</p>						
経過	<p>謎解きイベント 期間：①夏休み 8月1日～31日 ②夜間 10月21日～12月17日の金・土（18日） 金額：①夏休み 500円 ②夜間 1,000円 想定参加者等：①夏休み 小学校低学年の子どもとその保護者 ②夜間 概ね18歳以上の大人</p> <p>PR冊子作成 発行：令和4年8月 部数：50,000部 主な配布先：区内外のファミリーレストラン・スーパーマーケット・都営地下鉄駅構内、区施設等</p>						
必要性	荒川区の貴重な観光資源を活用し、区のにぎわいを創出し、地域経済の活性化を図るために必要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			元年度	2年度	3年度	4年度 見込み	
	① 謎解きイベント参加者数					10,000	
	② PR冊子配布数					37,400	
③							
事務事業の分類			分類についての説明・意見等				
4年度		5年度					
推進	休止・完了		令和4年4月のリニューアルオープンという好機を逃さず、あらかわ遊園の魅力を広く発信するため、取組を行う。なお、本事務事業は単年度事業のため、5年度は休止・完了とする。				

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額							-	32,871
決算額 (4年度は見込み)							-	32,871
実績の推移	事項名 (4年度は見込み)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	謎解きイベント参加者数							10,000
	PR冊子配布数 (部)							37,400
予算・決算の内訳								
令和2年度 (決算)			令和3年度 (決算)			令和4年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
						需用費	賞品購入費	1,000
						役務費	広告料	2,100
						委託料	謎解き、PR冊子作成委託	29,771

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
	行政費用合計 (b)	0	0	0	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	0	0	0	
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	0	0	0	

備考

問題点・課題

事業実施後、検討する。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	なし	なし	事業実施後、検討する。
②			
③			
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)		
議会議事録(要旨)			